大正十四年四月十五日第三種郵便物認可　昭和二年五月二十一日　京都帝國大學新聞　（土曜日）　第五十二號　（一）

京都帝國大學新聞

每月二回一の日發行
定價　一部　五錢（郵稅五厘）　一年　一圓（郵稅とも）
廣告料　五號活字一行金六十錢　記事中は右金額の二倍　掲載頁の指定は二割增
發行所　京都帝國大學　學友會新聞部　電話上京九八〇番　振替大阪七三二八九
發行編輯兼印刷人　入山雄一

昆蟲の生活と其習性（一）

農學部教授　湯淺八郎

人間は元來自己中心主義者である。若し「現代の生物中最も優勢なるものは何ぞや」と問はゞ恐らく大多數の人は「それは勿論人類である」と答へるであらう。偉大なる現代科學の威力に魅惑せられ燦然たる文化の恩寵に陶醉しつゝある文明人が、自ら任ずるに萬物の靈長を以てし人類こそは宇宙の寵兒

自然 の優勝者であると自負するには一理無きにしも非ずではあるが、翻つて生物學の立場より靜かに自然界の眞相を考察する時そこに大なる疑問なきを得ないのである。現に學界の一部には現世紀を目して昆蟲全盛期となし、大自然の優勝者、生物界の覇者は昆蟲であると見做す學者もある、言は倚崎に似て而もこれ或は眞理の半面を道破せるものではあるまいか。

斯くの如き推定の論據は六ケ條ある。即ち

一、昆蟲は其種の數に於て他の動物の全部を合したるものよりも遙かに多數である。

地上 に現存する動物總數約五十五萬種と稱せらる中四十五萬種は昆蟲である、又以て如何に昆蟲が優勢であるかを知るに足る。

二、昆蟲は個體の數に於ても偉大である。其繁殖力の旺盛なる實に想像に餘るものがある。特に蜂白蟻等社會性擬蟲に於ては一匹の雌にして十萬乃至百萬の卵を產むものがある。單に多產性であるのみならず一年數回時に十數回の世代を經過し爲めに其繁殖力は驚くべき可能性を帶びる。假令ば春一匹の家蠅が產卵し孵化した幼蟲が皆成長して親となり皆又產卵する。

斯く して子々孫々繁殖を續けたと假定すると秋には最初一匹の親から初つた蠅の家族は實に想像の及ばない巨數に達し、若し彼等の死屍が保存せられるとすれば全地球の表面を四十五尺の深さに埋立てる事になると云ふ計算が成立する。何れにしても昆蟲は個體の數に於ても生物界の第一人者である。

三、昆蟲は其分布に於て空間的にも時間的にも殆ど無比である。昆蟲は海洋以外、全地球に存在する、兩極圈內より赤道直下に至る迄溫帶は云ふ迄もなく寒帶にも熱帶にも遍在する。

高峰 の頂より深湖の底迄も行亘つて居る。地上を横行し空中を征服し水中に侵入して尙足れりとせず更に土中に潛入し甚しきは動植物の體中に其安住の生活環境を見出して居る。空間的に無比の分布を示す昆蟲は又時間的にも偉大なるものがある。化石の研究によつて昆蟲類進化の跡をたどれば昆蟲の歷史は幾億年の久しきに亘る、即ち石炭紀に於て既に昆蟲のある種類は現在と大差ない文化の程度に到達して居た事が明白である。其後幾多の地史學的變遷を經て、特殊なる昆蟲類にとつてこそ

興亡 盛衰があつたとは云へ全體として昆蟲綱は益々增大進化して現今の黃金時代に達して居るのである。

四、昆蟲は其食糧問題の解決に成功して居る。彼等はあらゆる有機的物質を營養の資源とする總ての動植物と其生產物は悉く食糧として昆蟲の利用する所となる。一枚の木の葉一個の蟲の卵さへも或種の昆蟲ハ全生涯を保養するに足る。更に昆蟲は驚く可き飢餓抵抗力を有する。昆蟲は其多種多樣の食性と耐餓力に依つて今日の成功を收めて居る。

五、昆蟲は其生活環境の諸要因物理的化學的要素等々に對して

優秀 なる適應力を有して居る。諸種の重要條件に對して巧妙なる調節力を示す。これも亦昆蟲をして生物界の優勝者たらしめた主要資格の一つである。

六、最後に而して以上の諸理由の故に昆蟲の生態相に於ける意義は自然界の平衡を保持するに役立つ昆蟲の勢力は絕大である。自然界に於て生物相の波瀾興亡の鍵を握るものは昆蟲である。彼等の活動は生物相互間の生存競爭を調節し緩和して動物と動物、動物と植物、植物と植物との間に一種の動的平均を生ぜしめる。

此の 平均が如何に重大なる意義を有するかは今更說明を待たぬであらうが、一度害蟲の大發生による被害の慘狀を見聞したる者は此の自然の平衡が保持せらるゝと否とが如何に直接間接に人類の利害に影響を及ぼすかを認めざるを得ない。斯る昆蟲の機能は詳論すれば頗る興味があるが茲では只斯くの如き役目を昆蟲が務め而して其動きが自然界の平和を保證するに絕對に必要である事を指摘して置くに止める。以上簡單に述べたる六の

理由 即

一、昆蟲は種の數に於て絕對優勢
二、個體の數に於て無數
三、分布に於て殆ど無類
四、食性に於て無比
五、生態學的適應力に於て偉大
六、自然界の平均保持に於て絕對有力

なる事等より推論して、現世紀は昆蟲の全盛時代であり、大自然の寵兒、生物界の成功者は昆蟲であると云ふ主張にも、相當の論據がある事を認めざるを得ない次第である。

昆蟲 は人類と切つても切れない緣に連がれて居る、人間は昆蟲と關係なくして生活が許されない實狀にある。一方益蟲として至大の奉仕を人類になす昆蟲は他方害蟲として絕大の損害を人間に加へて居る。我國重要輸出品の首位を占め年產額八億萬圓を下らざる生糸は要するにボンビックス・モーリーと稱する一昆蟲の貢獻する所である。所謂害虫の天敵として人類の爲めに働く益蟲の經濟的價値は之を數字に表はす事は困難であるが、そが至大である事は確實である。之に反して害蟲に依る被害は實に寒心すべきものがある。

全世 の人民が共に食糧問題に惱む時世界の食糧はその原料たると加工品たるとを問はず年々平均產額の一割は害蟲に依つて掠奪消耗されて居る、最も內輪に見積るも一年三億五千萬圓と云ふ膨大な虫稅を日本人は負擔せしめられて居る。しかも害虫の被害は食糧品に限らない、住宅も衣服も商品も、害虫の損害を被らぬものはない。更らに昆蟲の或種類はマラリヤ、黃熱、黑死病等々の傳播者である。コレラ、チフス菌等を播布する、或ものは毒作用を起す。斯くの如く害蟲は人類の

健康 を害し生命をも危ふする。害蟲を目して人類の最大强敵我等の幸福の最大の威嚇となすも强ち過言暴論として一笑に附することは出來ないのである。

更に昆蟲の或るものは螢とか鳴く虫とかの樣に自然を禮讃する東洋人にとつて詩趣豐かに親しみ深いものである。又社會問題の喧しい今日、時に無批判に無理解に取扱はるゝ蟻とか蜂とか社會生活を營む昆蟲類の本能や習性には畏敬に値するものがある。

以上述べたる如く昆蟲は生物界の優勝者であり人生と密接なる利害關係を有し自ら我等の

興味 を惹くのであるから諸君と共に私は此の與へられたる機會に昆蟲の生活と習性の眞相に一瞥を與へて見るのも强ち無意義でないと思ふのである。

昆蟲は學術上六脚綱と呼ばれる通り三對の脚を有する節足動物である。世人が漠然として云ふムシの多くは昆蟲でない。バクテリヤやカビの類は勿論所謂ムシケラと稱せらるゝへび、とかげ、かへる、みみず、なめくぢ等は云ふ迄もなく、むかで、げじげじ、くも、だに、さそり等も昆蟲で無い。茲に云ふ昆蟲は蝗、蟷螂、蜻蛉、蚜虫、蟬、虱、天牛、甲虫、蝶蛾、蠅蚊、蚤、蜂蟻等で皆立派に六本の脚の所有者である。

昆蟲類は主として形態の異同に基き通常二十五目に分類せられる翅の數、構造、口器の組立、機能等は其主要なる

特徴 であるが生活史樣式も亦重大視され、此點に立脚して昆蟲類を四の群團に大別する事が出來る。此特徴とは所謂變態の現象を指すのであるが、變態とは昆蟲が卵から親になるまでに、形態的に生態的にいちじるしい相異變化を示し構造から見ても機能から申すも明瞭に分業が行はれ、幼蟲と成蟲とは似ても似つかない有樣を云ふのである。假令ばあの毒々しい毛蟲と美しい蝶々とは一見して親子であるとは想像が出來ないし毛蟲が蝶になる過程には更に蛹と云ふこれ亦異樣な

恰好 をした改造の時代を經るのである。これ等の變化が即ち變態である。今此の變態の有無及其程度に從つて昆蟲を分類すれば次の如くになる。

一、無變態類
二、小變態類
三、半變態類
四、全變態類

無變態類とは讀んで字の如く變態の認められないもの、孵化當初の幼蟲も老熟した成蟲も形態的にも習性上にも殆ど區別がない。もとより蛹と云ふ樣な時期はない。昆蟲の生活史樣式中最も原始的で簡單なものである。此類は衣魚目と彈尾目とによつて代表せられる。

小變 態類とは若蟲と成蟲とは可也類似して居り一見親子である事が認められるもので主要な相異は若蟲では翅の發育が充分でないが親になれば立派な翅が出來、內外の生殖器も完全に發達すると云ふ位に過ぎない。生涯同樣な場所に生活し同樣な食物を攝るので居る。かく變態の程度が僅少であるから小變態類と呼ぶ。此の類は次の十一目を含む。（一）純翅目ゾロアプテラ、（二）蝗、蟷螂の類である直翅目、（三）皮翅目ハサミムシ、（四）等翅目シロアリ、（五）嚙虫目シロアリモドキ、（六）虫目チャタテムシ、（七）主として鳥類に寄生する食毛目ハジラミ、（八）總翅目アザミウマ、（九）クサタガメ等を含む異翅目、（十）蟬ウンガ、蚜虫、介殼虫等の同翅目、（十一）虱目、以上の內同翅目の或種類は介殼蟲や蟬の如く若蟲と成蟲との相異も可也判然とし蛹に準ずる時期を經るものであるがこれらは異例と見做す可きものである。

半變 態類とは若蟲と成蟲との發育程度の相異明白に單に差許りでなく形態も著しく違ひ棲息の環境も時には食物の性質も異なりて居て蛹期が無い丈で餘程全變態類に近接して居る。實例を擧げれば、（一）トンボやイトトンボを含む蜻蛉目、（二）幼蟲は水棲で成蟲は短命で有名な蜉蝣目カゲロウ、（三）同じく成長期間を石多き溪流に棲む積翅目カワゲラの三目が此の半變態類と云ふ生活樣式を示して居る。從來は前述の小變態が不完全に行はれると云ふので不完全變態類と呼ぶのを常とした。

以上 の三類は何れも變態の一大特色である蛹の時代を缺くが故に其生活史樣式は卵—若蟲—成蟲と云ふ三時期から成立つのである。（未完）（講演要領文責在記者）

高等學校入試問題漏洩事件について

法學部學生　千葉實三

目下學界の不祥事として世上に喧傳せらるゝ所の所謂高校入試問題漏洩事件についてこれを法律上社會上の二のプリズムを通して少しく愚見を述べて見たいと思ふ、先づ本說に入るに當つて一應本事件の梗概を記することが愚見を述べるについても、便宜であると考ふるが故に以下少しく貴重なる紙面を借ることゝする。御承知の如く本事件の發端をなすものは、一、印刷局にて職務として印刷事務に從事すべき義務を負ふ處の一技手が局外當事者と通謀し、其の地位を利用して入試問題を外部に漏出しこれを局外當事者に引渡をなし、二、局外當事者は引渡に依りて問題の謄寫印刷をなし、入學受驗者又は其の父兄に賣却しその反對給付として不當の利得を受け三、受驗者はこれに依つて容易に受驗の目的を遂げたりと言ふことなのである。

一、印刷局の技手が國家との關係に於て（公法關係）忠實に勞務の提供をなすべきは官吏たる資格に於て然るのみならず此點について一般私法上の雇傭關係についても何等異る所はない、從つて嚴正に秘密を要とし其の問題の漏洩が公の秩序に影響を及ぼすが如き性質を有すものを社會の一部に公表したる行爲は假令自己の利益のためにせるに非ずとするも公法關係に於て國家に對し忠實に勞務の提供をなしたるものと言ふことを得ない、忠實に勞務を提供するとは勞務自體を忠實に提供することのみを指稱するものではなくて國家の意思を尊重し國家の意思を以て自己の意思となし國家の機關として勞務に服するの意でなければならない、而して本事件の當事者たる技手は上述の意味に於て義務違反たるのみならず義務違反の動機並にその過程に於て既に不純なるもの—自己の利益のためにす—なる意思を前提としてその地位を利用したる行爲なるが故に瀆職罪として刑事責任の主體たるべきは當然なりと信ずる。

尙これに關聯して技手の漏洩行爲自體は瀆職罪の客體とはならずとの說あるやに聞き及ぶも國家に對し忠實に勞務を提供すと云ふ行爲と漏洩行爲自體とは互に牽連性を有しこれを切離して考ふることは如何かと思ふ、即ち國家に對し印刷行爲なる勞務を提供することより印刷の目的物の如何なるものであり更に別段の注意をなすことに依つて目的の內容並にそのものの保管狀態とその場所を知悉しうる可能性を與へられ從つて其の漏洩又は實行行爲（問題を盜み出すこと）も容易なりと信ずるからである、而して此の利益（特典）は官吏として國家に對し勞務を提供すると云ふ事實行爲を前提として得らるゝ結果であつて其の結果の利用は官吏たる地位の濫用なりと考ふるも敢て不當ではなからうと思ふ、且つ又上述の如く忠實に國家に對し勞務を提供することを要するを以て勞務を忠實に提供する實質上の行爲に對して義務を負ふのみならず消極的に國家の意思を尊重して其の表示の效果を發揚せしむべき義務を負ふものと解するが妥當なりと信ずるが故である。（未完）

究閑錄（五）

工學部助教授　松田長三郎

宗教無く、藝術無く、ユーモア無き人生は、恰も荒涼落莫たる沙漠の中を行く樣なもので、潤ひの無い索漠たる人生であるであらう。しかも不幸にして私は尙未だ宗教的信念情操に乏しく、藝術も知らず、ユーモアを解せないことは、常に限り無き悔みと淋しさを感ぜずには居られないのである。

此等のものは、我々人間の內的生命の抑ゆべからざる欲求であり、之れ無くしては一日も堪へることが出來ないものである。殊に崇高なる宗教的情操を體得し得たるものは、何物にも替へ難き無限の寶を獲たもので、此上ない歡喜であらねばならぬ。

×　×　×

近頃私の痛快に思ふたことは伊太利首相ムッソリーニである。彼の政治を行ふや、恰も無人の境を行くが如く、豪放果斷、能く其の思ふ所を敢行して敢て憚らないのである。獨裁政治、專制政治の時に甚だ危險であるが、しかも大衆政治、議會政治の弊、漸く大ならんとしてゐる現狀に於ては、一意國を憂へて、敢て私心なき傑出せる憂國の士の獨裁政治も亦一服の淸涼劑たらずとせぬ。

×　×　×

彼は從來幾回と無く狙擊を受けたが、其の度毎に危く危難を免れてゐることは誠に天佑とも云ふべきであらう。之れに就て同氏が爲した聲明は如何にも堂々たるものであつて、「予は予のなすべき事業を完成せざる限り、如何なる場合にも自己の身體に災禍の起らぬことを確信する」と云つて軒昂たる意氣を示してゐることは何等の壯快であることか。

千萬人と雖も意とせない此の信念、此の確信、國家國民の爲めに計つて是なりと信ずることは、斷乎として之れを貫徹せずんば止まぬ此の意氣、此の信、此の熱は、其の背後にひそめる偉大な信仰の力によるものでなければ叶はぬと思ふ。其の務め終るまでは、何人の迫害も、病魔も其の身を害ふことは出來ないとの確乎たる確信を把持し得ることは、何たる幸福なことであらうか。

又ネルソンが、トラアルフガーの海戰に敵彈に仆るゝ時、「我、今我が實務を終へたり」と從容として死に就いた如き、凡そ偉大な人物が、其の業を執るに當つては、其の學者たると、實業家であると、政治家であるとを問はず、常に之れを天の使命なりと考へたのであらう。斯くして初めて、其の仕事に意義があり、熱が保たれ得るのである。

×　×　×

大學學生生活は一面社會生活へのあらゆる準備時代である。學科は之れを尊重すべくどの科目に限らず、必要を認めて課せられてゐる以上、何れにも十分力を入れなければならぬことは勿論である。又學問愛好や修養と云ふやうなことから離れて、世俗的な單に就職と云ふやうな點から云つても、全く必要なことである。殊に近來就職難の際は頗に喧ましくなつて來て、しかも就職は多くの場合、其の學業成績の如何が、最も多く考慮せられてゐる樣な現狀に於ては殊に必要である。卒業後の將來は此の時代に於ける勉强不勉强に依つて多く左右せられてゐるやうに思はれることは、學生諸君も相當に深く考へて置かるゝことが肝要である。在學中數回行はるゝ單なる試驗結果の良否が彼等の終世拭ふべからざる烙印となり社會生活への門出に於て、最も重きをなしそれが、軈て行末永き彼等の命運消長の關する鍵にもならうかと云ふやうなことは、誠に不合理極まるとで慨かはしいことではあるがしかも現狀は之れを如何ともすることは出來ぬ。試驗期に際して、或は病氣の爲め、或は家庭の事情の爲め止むなく學事にいそしむことが出來なかつたやうなものもあらう、或は又所謂受驗の下手なものもあるであらうし、試驗成績は必ずしも受驗者の眞正の力量の秤量にはなつてゐない。學生個々の才能を考慮に入れず、千遍一律に筆記試驗のふるひにかける。偶々出題された問題が、或は山を張つて居たものであらうと、筆記に諳んじてゐたのであらうと問題ではない。勿論果して充分諒解せられての上の解答か否かは、容易に判定することが出來るとではあるが多くは所謂最後の五分間であるガンバリ樣の如何にあるやうである。兎に角試驗の成績が重く見られて、答案には表はれないやうな學生各自の才能は、餘り問題とせられないのである。從つてノートに嚙りつく樣になることも亦止むを得ないことかも知れぬ。

×　×　×

しかしながら、かう云ふことが大學學生生活のすべてゞあつてはならない。凡てゞあつてはならない筈である。學生時代は智的の準備をなすは勿論、人間としての修養に無關心であつてはならない筈である。我等の人生に潤ひあらしめ、人生の目的に意義あらしむる爲めに、宗敎に藝術に心を向けらるゝことが肝要であると思ふ。此の時代を無關心に經過して了へば、社會へ這入つた上は、其の心機が却々容易ではないやうである。私は今、其の精進の心はあつても尙未だ藝術なく、宗敎無き自分を悲しく思つてゐるが故に夫れ丈け、若き靑年學徒諸兄の考慮を切望する次第である。大學學生生活に眞に意義あらしむと否とは、一つに各自の平常の心掛けにある。これには常に時間の善用を心掛けて、或は學科に修養に夫々の時間を適當に割り充てることが必要である。

×　×　×

キリストは三十にして初めて道に入つたと云はれてゐる。夫れ迄は唯の大工であつたのであるが、それより三年の後、僅かに三十三歲にして磔刑に處せられ、其の短き一生を終つた時には、最早以前の如くの大工ではなかつた。殊に道の爲めに戰つたのは僅かに最後の一年である。斯くの如く短き生涯を以てして、尙且つ千載のもとに、救世主として同敎徒の渝らざる信仰を續くる所以のものは、そこに眞に萬古をつらぬく人生の奧秘に觸るゝ何物かが存するに依るものでなければならぬ。孔子は三十にして立つと云はれたが、キリストは大工の子として、三十にして初めて立ち、數年を出でずして其の大業を祖述して百世の下、尙而も熱烈なる信仰の逆る所、一たび立たば此の偉大な事業を百世の下に遺すことが出來た。

又今全世界に於て、救靈團體として活躍せる救世軍の鼻祖ウイリアム・ブースが、初めて此の爲めに立つたのは十五歲の少年時代であつた。十五歲と云へば未だ乳の香も失せぬ童兒である。しかも至誠の逆る所、萬人を感動せしめ、鬼神をも泣かしむるのである。

想ふに、今本學學生諸君は、靑年期の最も圓熟したる期にあり、年齡に於て最早少きを憂ふることはない。豪放偉大、獨り自ら尊しとすることは避くべきであるが、敢て自ら卑下するには及ばぬ。學業に於て勵まるゝと共に、人間としての修養に後れざらんことを切望して止まぬ次第である。

究閑錄一篇、下らぬことを長々と書き連ね何れを始めとし、終りとすることも出來ない樣な漫談、幸何等かの御參考ともならば幸甚である。

新刊紹介

學生の見たるアメリカ　中村嘉壽氏編

昨夏、代議士中村嘉壽氏が發起して組織せる、學生海外見學團に加はつて渡米した、多數學生の中から、九十篇近い、見聞、雜感の短文を得て、之を蒐集したもの。名士の題字や序文で埋まつて居ると言ひ度いが、敢てお奬めする氣はない（四六版、四五四頁、一圓五十錢、東京市牛込區納戶町三〇學生海外見學團發行）

◇朗風（二六號）第一高等學校瑞穗會の機關紙「唯物史觀の心理學認識論的批判」と題して慶大豫科教授菱田駒喜氏の論文「黑上正一郎氏の人文現象の研究態度と日本精神序說」など主なる記事、其他倫理觀の歸趨と實人生體驗など（東京神田錦町三の七好文堂內其社發行十五錢）

創刊號からの本誌を貳圓でお頒けします

倉庫整理の結果本誌第一號から本年三月まで、滿二ケ年分完全に揃つたものが數十部出來ました。御希望の方には定價（二圓）でお頒ち致します現金又は振替直接當部へお申出下さい。

學友會新聞部

河原町丸太町停留所

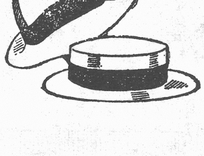
制夏服
豫約

ポーラ地背廣上下
特製セール　自二十八圓——至四十五圓
A……金二十七圓　B……金三十四圓
C……金三十九圓　D……金三十九圓（上衣カシミヤ・ズボン白セル）
右ハ何レモ御注文品假縫付

移轉開業に伴ひ一層勉勵可仕候間續々御用命希上候

京都市河原町丸太町南（停留所南）
上田洋服店
電話上二一七二五、二一七二六番　振替口座大阪五三三三一番

新綠！
清涼！



輕快、清涼を覺ゆる
ストローハット
麥稈帽子
瀟洒……
そのものの如き
パナマ帽子

各國帽子・學生帽子
山本製帽店
京都丸太町烏丸東入一丁目四

洋書特價提供

1. Abraham: Teorie d. Elektrizitat 2bd	¥ 10.00
1. Cosack: Lehrbuch d. Handerlsrecht	9.00
1. Hammarsten: Physiologischen Chemie	6.00
1. Hutte, Bd. 3	3.00
1. Jeans: Mathematical Theory of Electricity & Magnetism	10.00
1. Kohlrausch: Lehrbuch d. Praktischen Physik	9.50
1. Moszkowski: Einstein the Searcher	5.00
1. Planck: Theatise on Thermodynamics	4.00
1. Pound: Spirit of Common Law	4.00
1. Sommerfeld: Atombau u. Spektrallinien	10.00
1. Sommerfeld: Atomic Structure & Spectral Lines	10.00
1. Sombart: Proletarische Socialismus 2bd.	13.50
1. Watson: Practical Physics	5.00

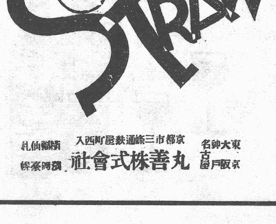
新着案內

1. Arrhenius: Chemistry in Modern Life	¥ 6.15
1. Brinkley: General Chemistry	7.70
1. Colwell: Radium, Xrays & Living Cell	11.55
1. Duncan: Physics	9.00
1. Fabne: Heavens	9.00
1. Goudie: Steam Turbines	16.50
1. Coursat: Cours d'analyse Mathematique 3v.	26.70
1. Grew: General Physics	8.00
1. Hazeltine: Electrical Engineering	13.30
1. Hildebrand: Principles of Chemistry	4.60
1. Lamb: Hydrodynamics	22.50
1. Lane: Motor Truck Transportation	4.80
1. Perry: Steam Engine & Gas, Oil	5.50
1. Robertson: Physical Chemistry of Proteins	15.60
1. Sherrill: Staines Glass Tous in Spain	6.90
1. Southall: Mirrors Prism & Lenses	14.10
1. Tompking: Marine Engineering	19.80

1. Andrees: Geographie d. Welthandles. 3bd.	¥ 20.00
1. Borght: Sozialpolitik	10.40
1. Dorner: Religionsphilosophie	5.20
1. Elster: Woeterbuch Volkswirtschaft 2bd.	15.60
1. Gide u. Rist: Geschichte Volkswirtschaftlichen Lehrmeinungen	6.00
1. Harms: Probleme d. Weltwirtschaft	13.90
1. Helfferich: Das Geld	11.15
1. Herkner: Arbeiterfrage 2b.	12.50
1. Liefmann: Finazierungsgesellschaften	12.80
1. Liefmann: Volkswirtschaftslehre 2b.	11.65
1. Norden: Papsttum u. Byzanz	10.25
1. Obst: Bankgeschaeft 2bd.	1780
1. Schmidt: Zur Wiedergeburt Idealismus	3.30
1. Schmoller: Volkswirtschaftslehre 2bd	16.65
1. Simmel: Soziologie	10.40
1. Sombart: Moderne Kapitalismus 4bd.	22.50
1. Wiedenfeld: Nordwesteuropaeischen Welthaefen	8.85

郵送のものは價格の外に郵送料を申受
株式會社　大同洋行
東京神田區通神保町五
振替23.965番（電話神田3・223）

特價禮讚
特價が大量生產の贈物で價に反比例する優等品であるは丸善の特價麥稈帽で確實に證明されます
賢こい堅實な新人は例年必ず特價に率先します
丸善特價麥稈帽
價金壹圓六拾錢
送料（內地四十五錢　荷造費共（臺・樺　六十五錢　鮮・支・南八十錢）



京都市三條通麩屋町西入
丸善株式會社
東京・大阪・名古屋・神戶・福岡・仙台・札幌

靄々たる和氣漲る 有信會歡迎懇親會

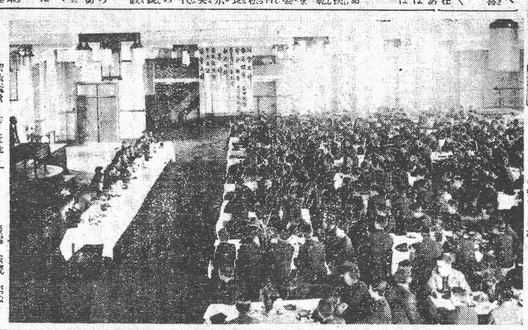
諸教授交々立ち 歡談盡きず

法學部有信會の新會員歡迎懇親會は去る十七日午後三時から本館二階大ホールで擧行された、會衆實に五百餘に見る盛會だつた。

委員奧村仁郎君開會の辭を述べ、山田委員長は『今日の會は誠に喜ばしい』と前提をおいて　有信會は無色であり空氣の如くである中に、或時は自らの存在を忘れる、又水の如き交りである內部より見る時はその存在は淡い、然し外部から見るときは或は識であり或は大洋である、偉大であり力あるものである。と述べ更にその水は美しく清くあらねばならぬと巧な比喩を以て挨拶を述べられ、烏賀陽教授無味乾燥な會計報告を諧謔を交へて潤をつけ詳細に報告された。次いで委員となり兼ねて新委員を紹介し、松岡君新入會員歡迎の辭を勞頭總長の口調を眞似て驚かし、聊か訓示的な挨拶と度はづれた諧謔、微笑を買ひ、松尾君新入學生を代表して簡單に答辭を述べた。此の間茶菓盛られ會は遠慮なく懇親の目的に達する。期待された諸教授の挨拶に入り、仁保教授

今迄は『うそ』をつくなと教へられた今後は『うそ』をいへ思ひ切つた『うそ』をいひ飽く迄それをばらさない樣な大『うそ』をいへ　それは信とは何ぞやを解するに最も必要な事である。

と述べられたのを皮切りに、宮本（修）、川島、竹田、磯川、田村、牧、渡邊、末川の諸教授交々立つて或は感想或は追想又は鋭い諷刺に醉ひ會場は快い空氣に滿ちみちた。夕食が運ばれ掲示に書かれてあつた所謂『諸兄の飽くなき食慾を滿足せしむる』に足るものがある。次いで會員の感想に入り先輩淺田氏を初めとして在學生から有信會に共濟部を設置せよと叫ぶ者あれば、先輩側から『有信の交は卒業して初めてわかる』等と嘲ずるもあり、應酬交々、併し懇親を破るそれではなくしていやが上にも感興を增すものであつた。最後に先輩若林氏有信會の發展進路を述べ委員奧村仁郎君閉會の辭を述べ山田委員長の音頭で法學部、有信會の萬歲を各三唱し和氣靄々裡に午後七時散會した。



「新しき友を迎へて 親睦更にあつかれ」
法學部有信會（下）と農學部四明會（上）の新入學生歡迎會

農學部屋上の新入學生歡迎會

園遊會に花が咲き 福引に空籤なし

燃ゆる眞紅の旗を以て、春正に酣ならんとする五月十八日（水）我が農學部に於ては新入學生の歡迎會が催された。比叡山上滴るばかりの綠は、新入諸君の入學を謳歌する如く、加茂の川原に潺湲として流るゝせゝらぎは、諸君の未來を祝福してゐるやうに思はれた。

當日朝來細雨しきりにふりみふらずみの雨模樣だつたが測候所の報告に力をえて午後三時より愈々決行される事となつた。

定刻既に大講堂に會するもの約二百餘名、先づ松原委員登壇して歡迎會開會の辭を述べ、こゝに本會の幕は切つて落された。次で農林經濟の柴夫君新入生を代表して之が答辭を述べ、滿堂の拍手裡に降壇、當日は鈴木部長不在の爲代理として林博士河野幹事の挨拶及會計報告があつた。次で同幹事發聲の下に、一同農學部の萬歲を三唱して直に屋上に於ける園遊會に移つた。

一圓で買つた會食券には、ビールあり、おでんあり、サイダー、サンドウヰッチ、すしに福引もある。宴會にうつる頃は、雨もすつきり晴れ上つて、雨後の清風快くビールにほてつた頰を撫で、教官學生事務員はいはずもがな小使さんから掃除婦迄屋上に集つて和氣靄々の裡に會は進んだ。麥酒に醉つぱらつてくだをまくあり、ビール瓶をふりあげて萬歲を絕叫するあり、寫眞をとるもの踊るものなどあつて、一同歡娛の限りをつくした。

やがて、福引の當籤が發表さるゝや見事福引に當てゝ肩上けをさるゝもの、電氣スタンドや蛇の目をもらふもの、中には松竹座の入場券が當つて、早速今夜コーリンムーアの『巷の異街』を觀に行かうと相談してゐる連中もあつて、誰にも空籤なしといふ盛況であつた。

かくて五時近く盛會裡に目出度一同散會した。

人心漸く自然を慣ひ、田園の生活に憧憬をもち出した今日、我が農學部は創設以來既に三星霜を閱して、昨年第一回の卒業生を社會に送り、本年又百二十餘名の新入生諸君を迎へて、その喜びは隅々迄行きわたり、一木一草悉く本日の催しを讚美し、歡喜にうちふるへてゐるかの感があつた。

新入學生

宣誓式 嚴肅に行る

本學々生にとつて最も重大なる意味を有する宣誓式は去る十四日午前八時卅分より本館二階大ホールに於て擧行された、定刻各學部教官新入學生參集、其他のものは其の後部に參列し、總長より一時間餘に亘る壯重嚴肅なる訓示あり、大學院學生、新入學生總代の答辭あり終つて大學院學生は總長、各學部學生は各部々長の面前に於て各學籍簿に自署し宣誓を終へた

新法學部長 山田正三教授

全法學部學生の信望を一身に集められ名部長の聲高かつた佐々木先生は今回部長の任期滿ち、此の程後任部長として山田正三博士が部長に就任せられた、先生は四高出身本學明治四十二年七月の卒業現在民事訴訟法を擔任せられてゐる

學生事件の判決は來る卅日

大正十四年末本學寄宿舍生の檢擧に端を發し全國に亘つて百數十名の學生が拘束され、學生社會及び思想界に一大波紋を描きし學生事件の公判は、去月四日より約二個月の間京都地方裁判所にて開廷されたが。而して當時の消息は幾度か新聞紙上特に大朝京都日出に詳しく報じたが、愈々澤田同大を除く被告三十七名に對する審問も完了したので來る卅日午後一時より同裁判所に於て判決がある筈である。

兩助教授歸學

在外研究中の農學部沼田助教授は去る九日同醫學部木原助教授は同十四日各歸學された、其の歸朝談は今後の紙面を賑すであらう。

學生禁酒講演大會に於ける 三博士の熱辯

聽衆二百に及ぶ

既報の如く新入學生歡迎の『學生禁酒會講演大會』は去る十七日（火）午後七時より學生集會所階上で開催され無慮二百の聽衆は青柳・松浦・中島三博士の熱誠より迸り出づる講演に傾聽した

青柳工博 は『米國禁酒法に就て』一八二六年十二月二十八日ボストンに於ける『禁酒會』設立より說き起しリンコルンの禁酒黨としての一面、ジョン・ウィラアド夫人を會長とした『基督教婦人矯風會』の奮鬪

さては…… 一八七六年議會に禁酒法案提出のはこびに至り『アルコール問題調査委員』が五萬六千の諸事件に關する研究報告の詳細、更に全米禁酒同盟會委員の奮鬪によつて遂に上院下院を通過し憲法改正第一條に從ひ一九二〇年一月十六日國を擧げて禁酒を實行し反對黨猛烈なるもそれが結果はすこぶる良好で『上等のビール四ガロンは一匙のパン粉にも劣る』『國家は斷然に酒を使用せざるとの義務』『酒は吾々の臟腑を蝕ひ健康を害する』もので、ハーヂング氏は飲酒の害を立證したしハワイ島でも郡々盛に効績顯著なるものがあり、能率の增加、生産費低下從つて家庭圓滿幸福を來してゐるが彼等は更に〳〵第二の國民に多大の期待をかけてゐる。……と述べ最後に博士は話頭を轉じてイタリーに於ける青年愛國運動の經路及び信仰に立脚せる英國學生の禁酒運動に論及され　彼等西歐の大學生は『人間とは何ぞや』といふ疑問を起し今や東洋の精神文明を研究し愛國主義に立脚して居るに反し、わが國の學生は如何、諸君の點に於て

學生の…… 訓練を邪魔してゐるものはないか、諸君滿足と愉快とを以て國憲に從ひ國法を重んじ國家社會のためにつくされんことを望み諸君に待つところ多きものがある。云々と熱と誠の講演があり、ついで

松村醫博 は『醫學上より見たる酒精』と題して癲癇に陷り知覺神經麻痺の結果錯覺を伴ひ更に吾々を誘惑する麻醉藥の微妙な働きあることを述べ、麻醉藥の一たる酒を飲んでした判斷は悉く誤つてゐると專門家さへも遂に當にのむと補血強壯劑になると云ふ人があるが今日の醫學上全然認められぬ、親和力の強いアルコールは先づ大腦を侵し、特に對する抵抗力の弱いかよわい神性はその姿が蔽はれ獸性の一人舞臺になり廉恥、遠慮、同情、反省、抑制を失ふ、それに却て泥醉者は自己が強くなり勇壯活潑になつたと勘ちがひをして橫行濶步してゐると笑ふにたへたことである、云々

中島法博 は『禁酒問題と禁酒運動』に關してその問題は極く古く支那の禹の時代よりクリークがあつたので近頃問題になつてゐるのは不思議なやうに見えるが實は然らず宗教、道德、政治等に向つて科學的の研究がせられるに到り問題が

六かし…… くなつたからである……と冒頭し酒害を知りつつ橫行濶步してゐては『科學』もそれでは破産するかも知れぬと斷じ、社會問題としてモラルの點から見て飲酒の及ぼす犯罪を說き、これが經濟上の惡影響を眼論、而して鎌倉時代北條泰時が禁酒を斷行したことがあるがその運動も長足の進步を遂げ今年は『二十五歲禁酒法案』が否決された、これは一つの謎である、又數日前新聞紙に京都酒屋組合が禁酒運動者に對抗すべく決定的對策を講じてゐると書いてあつたが、考へてみればこんな宣傳方法によつて酒を賣りつけて飲まさねばならぬ處までなつてゐる。要に角禁酒道以外には財政的に國家を救ふの道はない諸君歸宅の後冷靜に『酒は飲んでよいものか惡いものか』考へて貰ひたい、云々と結ばれた

投書欄

本學關係者に限る◇一篇八十行以內（成るべく短文を望む）◇學部共名を明記（匿名はよらず）

學友會に就いての所感

經濟學部學生　河出　修一

從來の如き制度と機能とを有する學友會なるものが現在の學生一般の意志を代表——否少くとも尊重されてをらないことはその規約及び事業を一見すれば心あるものは何人も否定せない所である。

成程發生當時に於てはかゝる制度も一應は合理的な親睦を意味するものとして思考されて來たが然しあらゆる制度が然る樣に變遷常なき社會相に反映せられ、又學生自身の內部に於いての自治の目醒めがより強大となるにつれて現在の如き學友會なるものに對してあるものは著しく不滿を感じ、あるものは極度に失望し從つて他事の如く學生大多數より遊離し等閑に附せられたことは當然のことである。學友會の機官を利用し享樂してゐる學生は實に學生全體の一割位にも相當せない現狀に於いて、學生は每年入學する時入學金として俱五圓と一年間に五圓の學友會費を何等の問題とせず文句なくきれいに納入することが既に不思議といふべきである。

學友會改善促進會が一昨年の十二月の所謂學生不法檢束事件を一轉機として如上の學生の不滿不平を具體的に表はして來たことは誠に當を得たものであつて異存のないことである。促進會は一般學生の利害の觀點より、又學生の自治の立場より種々なる具體案——例へば共濟部設置、代議員選出の方法、學生大會などを明確に掲げて一千餘名の署名を得て、爾來あらゆる逆宣傳又は迫害の下に健鬪して來たことは贊成の理由こそあれ拒否する理由は毛頭ない筈である。

即ち昨年十月には代議員の召集に依つてその目的を遂行せんとせるも召集狀の不徹底又は當時のある代議員の意識的怠慢に依りて開會されず、又十一月の代議員選擧に當り、促進會より選出されたる代議員候補は開票委員會の越權行爲に依りて殆ど落選の憂き目を見た當時一部より猛烈なる學友會俱樂部化の聲を聞いた。しかし促進會はあくまで學友會を建設的に又合理的に解決せんとして本年一月に至つて新代議員の召集を請ひ、その目的を遂行せんとせしも多數決の爲めに一蹴せられ、又學校當局も促進會の運動に動かされ、學友會の不備を痛感し、調査委員會の設置を提案し、その日より一千餘名の會員の前で調査委員會は設置された。然るにもその調査委員會は公開されることになつた。その後一ヶ月末に改革案を募集する以上には何等の具體案を指示しない。又その募集案も公表されず、より五ヶ月間も經過せる今日何をして居るのかを敢て問ふ。一體調査委員會は促進會は苟くも一千餘名の署名を得てその上に立つてをる以上て常に最善の方法をなし述の立場からその目的を遂行せざるべからざるもあらゆる機會に於て促進の問題としては又なさなければならないことは

（一）調査委員會を公開すること
（二）改革案を公表すること
（三）學友會を學生自身に委ねること

の三つの問動に限定せなければならないと信ずる。

銅像めぐり（一）

昔しの名總長 久原躬弦氏

『現京都帝國大學總長は理學博士久原躬弦先生です』と云つた時代があつたことは或は知らぬ人もあらうが本學正門から百萬遍へ通る道路と東門から化學教室前へ來る道路と合するところに理學博士久原躬弦先生の胸像があることを未だ氣が付かぬと云ふ人は多分無からう『あの銅像をおつこことした人があつてね』『ヘーエ』『するとね先生がドーゾー助けて呉れえつて云はれたとさ』こんな話をしながら原田理學士が書いて下さつた紹介をもつて理學部生物學教室に小松茂先生を訪れた、御多忙中にも拘らず快く引見されてお話して下さつた◇

私は久原先生には明治三十七年に講義をきゝ翌三十八年より直接御指導を受け以來ずつと引つゞき隨分とお世話になりました、先生が逝かれました時友人門下生有志約一千餘名が醵金した故先生記念事業資金の一部を以て銅像を作ることになりました、委員長にはかつて理工科大學長をして居られた中澤岩太先生がなられ實行委員にはさきに退職された大幸先生はじめその他化學教室の人々が盡力されました。胸像製作は東京の有名な彫像家新海竹太郎氏に依賴し臺石及周圍の意匠は京都高等工藝學校の本野精吾教授の設計考案になり、尚先生が化學者であつたので胸像建設地は化學教室の一角に選定されました。新海氏は生前先生を一寸見られた位なので寫眞により其の胸像を作る一方遺族門弟等の話を參考として完成されたもので、かくしてなくなられてから丁度二年目の大正十年十一月廿一日胸像除幕式が行はれました『あの胸像は生前の久原先生そつくりですか』『さうですね私はあの前に流れて居る溝のところから見るのが一番よく似て居る樣に思ひます』◇

生物學教室を辭して歸りに溝の角のところに立つてぢつと胸像を眺めて居ると、先生の黑いお顏がさつと夕陽に映えて輝いた

採油上より見たる 原油の諸性質

工學博士　小田川達明

左は本學工學部採鑛冶金學教室教授工學博士小田川先生が五月十七日の化學談話會に於てなされた講演の要旨である。

石油鑛業は他の固形鑛床の探鑛事業に比し更に盛衰が著しい。それは石油の地下流動に干與する要素が多種で且其作用が錯雜して居るに因するものである。メキシコの油田や我秋田黑川の油田の如く、地殼の裂罅の穴洞中に石油が貯溜して居る場合には俄然豐富な産出量を見ることがあり産油量の減退も急激で且不規則なるものである。然るに世界の多くの油田の如く、砂や砂岩等多孔質岩石が貯油層である場合には、産油量の減退は規則正しいもので、各油井は夫々非常を異にせるものでも、其油田に於ける産油量の減衰の大勢を示すべき同族曲線に從つて涸渇するものである。此現象は米國加州及オクラホマの油田や我新津高谷及東山比較の油田に於ても認められる。

私は實驗によつて斯かる場合に於ける産油量を決定すべき範式を求めたが元來石油が非底に向つて流動を起す場合には、流出を促進せしむる力と之に抵抗する力との二種の力が作用するものである。前者は瓦斯壓力、靜水壓、地壓であり、後者は粘滯力、粘度及び毛細管作用による抵抗力である。此等の諸抵抗力は由來多數の學者によつて研究せられたが實際の産油技術上貢獻する所は尠かつた。私は産油量の多寡は、油砂に對する原油の滲透速度の大小によるものであると信じ、滲透速度式を實驗によつて求めた。これによれば速度に從つて産油量を大ならしむるためには、油砂の受ける壓力と滲透速度係數を大たらしめ、且油井の間隔を小ならしむるためには壓搾瓦斯や壓水を送入して人工的に高壓を加へることが有効であり、斯かる方法は既に實施せられて居る。又油井の間隔は豐非豐にも關係があるが、豐富なる油田に於ては、油井を相當近接して掘鑿するがよい。又滲透速度係數は一定の溫度に對しては恒數であるが、溫度の上昇と共に增加するものであるから、蒸汽や熱油を以て非底を熱することは出油を好都合ならしむるものであり、將來の採油技術は種々の方法によつて此滲透速度係數を大ならしむべき方向に向つて進捗するであらう。從來原油の粘度や比重が出油の難易を決定すべき重要なる要素と考へられて居たが、これは謬見であつて私の提唱する原油の滲透速度係數が之を決定すべき重要なる性質であると信ずる。此性質を用ふれば種々の採油方法の適否が判定せられ、且排油現象が簡單に說明せられるのである。私の考案した原油の滲透速度計が此意味に於て役立てば幸である。云々

定期 身體檢査

舊館談話室で 二十五日まで

本學々生生徒の定期身體檢査は去る十六日より舊本部階上談話室に於て施行中であるが既に文科は濟み法醫理工經農は未だ繼續中である。本日以後の日割左の如し

二十一日（土）後一—三　工、農
二十三日（月）後二—五　法、醫、理
二十四日（火）同　經、農
二十五日（水）同　醫、工

新入舍生歡迎會

四十人の新入生を迎へた本學寄宿舍は十二日夜學生集會所樓上に於てその歡迎會を催し、花田學生監、西事務官其他關係者一同列席し歡談裡に散會した

一年志願入營 延期者は屆出のこと

本學學生の內一年志願兵、入營延期者にして卒業するに至らず、本年十二月入營すべき者は今月廿五日迄に其旨を配屬將校宛屆出づべし

原稿募集

今月廿八日まで 國際聯盟協會

國際聯盟協會本學支部研究會では今回演說原稿を募集するが規定左の通り

資格　國際聯盟協會本學支部會員にして五月十五日迄に入會せる者
題目　隨意、但し國際聯盟に關するもの
締切　五月廿八日迄に法學部末廣教授のもとに差出す事
字數　演說にて卅分以內に終るべきもの
賞金　京大、關大、關學大、外語、同大中より四名を選拔し九州遊說旅行（六月廿日より卅日迄）に參加し一人金五拾圓を支給す、但し演說は提出原稿の範圍に限るものとす

芝蘭會 次ぎは琵琶湖島巡り 二十九日

醫學部芝蘭會は來る廿九日（日）湖南汽船の船を借切り、會費約一圓五十錢の豫定にて琵琶湖巡りを行ふ。委員は多數會員の參加を希望してゐる。申込は學部入口の同掲示に署名すればよい。

芝蘭會見學 宇治へ

參加者たつた十人

醫學部芝蘭會は十五日（日）久しぶりの見學會を催し午後一時半から雨後の新綠を賞しつゝ宇治電の發電所へ行つた。宇治から會社の好意でトロッコを利し宇治川、志津川、近江の三發電所見學の後、宇治へ引返し、平等院に參詣、ダンゴを食つて五時半散會した。當日の參加者たつた十人。

醫學會

京都醫學會は十八日午後三時半より醫學部附屬醫院西講堂にて五月例會を開催し、左の講演があつた

一、饑餓狀態に於ける藥物の作用に就て　法醫學教室　川上理作氏

尚は同會では先月より每週金曜日午後七時より舊本部階上學生研究室にて末廣教授の『支那國民運動について』なる講演を續けてゐるが更に學生の研究發表がある。多數の傍聽を望んでゐる。

經濟學部クルー 上京は未決定

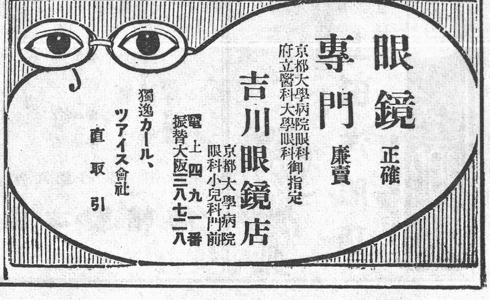
先般對外經濟學部レースに於て優勝せる經濟學部クルーの上京は其後種々の事情介在し、帝大學對抗ボートレースを行ふや否やは未だ確定せず本日京大艇に在つては先輩の意見を聽きその態度を決定することである

旬報

一日より十日まで

◇佛蘭西會例會　二十一日（土）午後一時　樂友會館　會費二圓五十錢
◇國防研究會第三回講演第二班　二十一日（土）午後一時　理學部事務室階上教室「露國の近況」
◇旅行部山岳班比良縱觀キャンプ　二十日（土）比良打見谷
◇京大都山流尺八演奏會　二十一日（土）午後五時　學生集會所
◇旅行部旅行班例會　二十二日（日）保津川下り
◇第四回對同志社陸上競技　二十二日（日）午前九時　本學グラウンド
◇學內卓球大會　二十二日（日）午前九時　寄宿舍內籠道場コート
◇近畿土壤肥料懇談會　二十二日（日）午前十時　奈良公園大阪府立圖書館
◇國際聯盟協會京大支部講演會　廿五日（水）午後三時　法經第二教室「國際政治の科學的研究」法學博士信夫淳平氏
◇社會學談話會新歡迎晩餐會　二十五日（水）午後五時　東友會館
五十嵐仲講師の講演
◇第三十三回特別講演（第二講）　二十七日（金）午後四時十五分　法經學部第大講堂「昆蟲の生活と其習性」農學部湯淺八郎教授
◇讀史會五月例會　廿七日（金）午後六時半　樂友會館五號室
◇國際聯盟協會京大支部研究會　二十七日（金）午後七時　舊本部階上學生研究室（支那國民運動について）末廣教授
◇學內庭球大會　二十八日（土）午後一時—二十九日（日）午前十時　農大構內コート　申込は二十五日迄にプールあづまやへ

寫眞器械材料一式
京都帝國大學 諸官署 御用商
目錄御入用の方は印刷實費郵税十錢御郵送を乞ふ
技術部　寫眞撮影 現像燒附 寫眞版印刷一式



雪辱成るか
對同大陸上競技戰
明廿二日本學グラウンドに於て

[illegible]

陸上競技部の對學部豫選會

[illegible]

黄金時代を誇る
短距離界の雄を集めて
我が陸上競技部

[illegible]

新緑の瀬川に農學部端艇戰

[illegible]

醫學部のボート祝捷會
おてん口酒の例を破る

[illegible]

本學了式審戦
大津再敗す
第二回戰・三對七

[illegible]

庭球部惜しくも敗る
大學高專春季聯盟戰

[illegible]

吉岡將軍を向ふに廻し
一高の副團長
大に彈丸た市河先生
國長は故山口鶴眼鏡氏

[illegible]

深草に於ける
本學射撃大會

[illegible]

旅行部山岳班
比良天幕行

[illegible]

ツーポス
語物昔今（三）

[illegible]

フールー賬ふ

[illegible]

大丸の麦帽子賣出し
共品　小・中・大　四種各サイズ
大丸 高倉
AEDFG
¥1.80 ¥1.00 ¥1.50 ¥1.70 ¥2.00

洋服は寺町通丸太町南 ナガヤ 電上四六三番

帝大の靴は河原町丸太町角 和田へ

スタルヘ ーキス井ウ
静を賞味するとなほ世界の名酒の酔に知かず

京都市内優良藥種商
醫療用藥品 製造 酒輸出入 半井萬商店

醫療用藥品 酸素 瓦斯 絶縁 化學藥品 炭酸瓦斯 各種 元素 近藤延壽堂藥局

三共株式會社 製造販賣 新藥 化學用藥品類 三共組

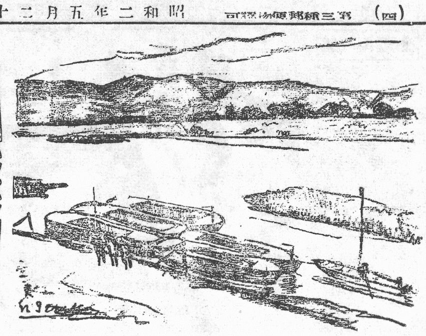
化學藥品及附屬品 安價ニシテ効能本位ノ 家庭賣藥調合 處方箋調劑 衛生百貨 計量器販賣 西川藥局

醫學品 化粧品 度量衡 計量器 東山藥局

醫學品 化粧品 度量衡 計量器 東山藥局

製計和寫工場 化學用品 醫療器械 素質製品品 出町藥局 ヨシダヤ化學藥品部

諸印刷 京都市松原通木屋町東入 美術製刻 乙印 高級事務用品 山田開陽堂 電話下一二五番



◇曳舟(瀬田にて) 家坂直清

完備せる米國圖書館と 英國の劇的頽廢
石田助教授歸朝談

英國牛津に在つて永らく本紙に倫敦通信を寄稿下さつた本學文學部助教授石田憲次氏は既報の如く滿二ヶ年の在外研究を了へさせられて去る九日歸朝された。新しい歸朝談を先生を下鴨の御宅にお訪ねすると快く讀者を迎へて下さる。丁度文學部の會にお出掛になるところ、暫しの閑を割いて語る先生のお話を拜聽する。

最初は米國へ參りました。ハーバートに滯在して其處でフランス文學の教授バビット氏に就て歐洲文藝批評史と、ルッソー思想に關する講義を聽きました。米國に居たのは六週間程でそれから英國に參りました。リバプールでエルトン教授の十八世紀散文の講義と

◇ポエチックス と題して歐洲詩學を聽きました、其後モーア氏に就てオールドイングリッシュミドルイングリッシュの講義を聽きましたがエルトン氏がハーバートに行かれたので後は專らモーア氏の講義を聽いたわけです。其の後の四月からオックスフォードへ行き、其處では公開的な講演に出席した外は大學の講義といつては出ませんでしたが大學の講師に就て個人的にオールドイングリッシュ及ミッドルイングリッシュを研究し又近代英文學の疑義を糺しました。英國では主としてロンドン、オックスフォード、リバプールに滯在して居ました。

◇夏季休暇 を利用して英國地方ウェールス、アイルランド、スコットランド等を旅行し歐洲を見學しました。其他獨逸、スカンヂナビアへも旅行し、歸りに巴里二十日間伊太利に數日——日を送つたやうな次第です。さうですね特に注意を惹いた點を云ひますと、米國では圖書館の完全してゐることですね。學生の必要なる書籍等は二重にも三重にも貯へてあるやうな次第です。書物の稀覯によつて一週間なり二週間の規定で貸付けるやうになつて居りますが、講義に必要なものは

◇學生の縱覽 に供してあるのです。そして其の數が又非常に豐富なんですからね。勉學には實に便利に出來て居ます。次は英國ですが、大學教育については彼地では個人的指導が個人教授の風が發達してゐるのですからチューター(家庭教師)に就て修學するわけです。一人で數人のチューターを持つて居る人なんかは——これもオックスフォードでの話ですが——二週間に數箇の課題を提出されて、それによつて多忙な努力を續けるわけです。學校へは出席しなくても、かゝる個人的勉學で、大學の卒業試驗だけを受けてそれで大學出と

◇優秀の地位 を占められるものです、試驗は殆ど一ヶ年を三年に一度だけですからね。此んな風ですからチューターは殆ど全般に亙つて、問題を蒐集し、或は前年度の問題に就て何れでも解答し得るやうな修養を施すのです。そして個人的な指導を徹底あらしめるわけです。

(筆者は尚宮島氏の反動のイギリスなる論文に就て英國一般の風潮を訊ねる)

宮島君ですか、あの人は船中私と起臥を共にしてゐましたが——あの論文は事實を物語つてますね。先づあんなものでせう、大體大戰前或は著名雜誌は凡て保守的な色彩を帯びて居るやうです。社會劇の方から云つても、ロンドン乃至地方のコンマーシャルセアターで賑ふのはミューヂカルコメディです、鳴物だとか美しく派手に裝へる

◇女の舞踊 を交へたものが一般に歡迎される始末です。殊にレビューですか續づくしと言つたものなど寸分の隙間なしに滑稽狂言模倣舞踊などをするものを好む傾向は風紀頽廢の象徵が窺はれるやうです、ジャズ入りの華麗な演出、聽覺的な音樂、活動寫眞を芝居化したやうな、そして刺戟を求めて居ることを示して居るのでせう、併し大きな都會には商賣的好者に依つて組織されてる藝術劇場があるが之は文學的な價値を有する

◇劇作の上演 をしてゐる。日本文藝に對する歐米人の關心ですか——之も一例ですが私が下宿屋の人でライプチッヒ大學の助手をして居る男が日本の岡倉覺三氏が東洋の爲に氣焔を吐いた本ザブックオブチーの獨譯を持つて居て一家非常に興味を持つて讀んだから私に讀んでくれ、何か日本のことを書いて見せてくれなど賴まれましたが彼等は非常に之に感心して居ました。其時丁度タゴールが獨逸に來て居まして、彼の西洋文明の攻擊に對しては

◇獨逸人 は共鳴してゐたやうです、其の後私がオックスフォードで岡倉氏の此の本を讀み示した時にも先生達は頗る面白いといつて讃嘆してゐましたがね。要するに西洋人が外面的な活動の風がありそれにつけて神經過敏で落着きがなくなつてゐるやうだが矢つ張り心が心命に憬れを持つてゐることは事實です。(文責在記者)

因みに先生は來る二十三日より英文學一講二講を擔當せられシユーバンマン及十九世紀文藝批評を講義される筈

味へど味ひ盡きず吉野山
文學部吉野旅行
打寬いだ歡談の二日
KLM生

五月十二日の京都驛頭は文學部學生の集合で賑つた。今度の旅行は教授、講師、寺本元講師の送迎會を兼ねて居つたので文學部創立以來の多數を集め二百名に近かつた。[illegible]た茶畑や清々しい竹林の姿は初夏の旅の快さを車窓から投げ入れる。奈良を過ぎて大和平原を橫切る頃からは寧都の跡をまざ〳〵と想像せしめずには置かないやうな土壇古陵の杜が現れる。大和三山が見え初めた。天の香久山、耳成山、畝傍山は平野の中に屹立してゐる。が、いづれも小さな丘である。が、併し我々日本民族はどれほどの空想と感銘とをこの三山から受け入れてゐる事であらう。歷史的文學的の回顧に記憶に、萬葉歌人が出を讃へた古の三丘は耕された田畑の中に陽光をあびて昔の夢を汽車電車の中に呼びおこさして與れる。同時に——これこそ大和を巡る者に缺くことの出來ない心の動きではないか。二千五百年の皇道を創められた神武帝の御陵は橿原神宮と畝傍山一つ隔て、營まれてゐる、我々は今更に太祖の限りなき御威德と御深慈とに心からなる合掌の念を捧げる。偉大なる換時代に思ひに他には久米仙人の傳說を持つ久米寺に參るがせい〳〵である。岡寺も橘寺も[illegible]寶を持つ大久保の遺跡を訪れる暇がなかつた。夢を見せてくれる大和に心からの惜別を感じる。暖かすぎて汗ばむ一日の午後は雨こそ落さないが曇つて行つた。それ丈に尚吉野の感じは暗かつた。吉野川の清流を眺めて登る山路を徒步より[illegible]よりかなしく思つた者もあつたらう。がみちく吉野神宮に詣で村上義光の墓を弔つて今更敵朝の悲運に淚した者の方が多かつたらう。花には遲かつた。併し吉野の價値は花に左右はされない。山こそ云つて居ても文字通り千本二千本と數ふる櫻の數もへられる程しかない。がた一歩一歩新しく展望が開けて行くことの悲しさによつて、我々はそれらの遠山高峰が立ちはだかつてゐる山の周りに金剛、葛城、高見、大峰等の歷史的悲壯に満ちた壯烈な事實を交へた舞臺を眼前に髣髴し、且そこに我等が收感を移し得る所に吉野の價値があるのである。

特別保護建造物としての藏王堂より四本の櫻あるその前庭に義光の注意は惹かれる。大塔宮村上義光の別離の宴はこゝで開かれたのである。藏王堂の西一町三方崖になつた狹い平地こそ一天萬乘の帝の在した吉野假皇居の跡と云はれる。我れが宰相の主源九郎義經が隱れたといふ吉水院の僧坊に後醍醐天皇も暫しの玉座を定められた。後の皇居の跡といひこの玉座といひに御傷しき限りである。陽が一層かげつて暗い室内は更に暗く、案内の少女もしんみりと長まつて述べるのも相應しい。

谷一つ越した所に如意輪堂がある。まことにしやかな寶物に笑ひ出すものもない。後醍醐天皇の御陵塔尾御陵は堂の裏手小高い所にある。御不運な御一生を追懷しこの山中に御英靈永しへに鎭ります心を思へば頭はいつしか垂れて暗淚に咽ぶ。水分神社は相當嚴しかも丁度修理中であつた。この神社は春日造りを綜びつけたる桃山式で珍らしい。夕陽の迫る頃中の千本のあたり藏王堂の甍屋根が大きく一つ浮んで來た。

その夜ドラ委の小西、坂口、三浦、矢野、西田、太宰、寺本の諸先生を迎へて宿の懇親會は〓いだ雰圍氣の中に開かれて歡談の一杯が廻つた。

× ×

十三日山を下りて初瀬へ向ふ初瀬の小さな町は大學生の洪水に一杯になつた。長谷寺の牡丹は丁度滿開であの優雅な廻廊の兩側に色とり〳〵に咲き競つてゐた。舞臺の眺めは清水のそれに優つてゐる。老僧の案内の話し方がおもしろかつた。その日午後一時半初瀬で解散。多武峯を訪れるもの、奈良に寄るもの三々伍々打ち散じて行つた。

北越車中
花田比露思

立山に雲あむらがりさみどりの越の中國雨晴れんとす
越の國はいま晩春の新みどり若葉の丘に桐の花咲く
新みどりはる山のべの水潞田を今はさ鋤ける越の田人ら
市振の沖は晴れたりかへりみる窓のガラスにうつる雲潮
つぎつぎにうつる波堀戶の物のかげ木かげ家かげ昼灘の如し
姬川さ名はやさしけれ雪どけの激しき流れのほしいまゝなる
いたゞきを雲はさゞせど晴れかゝる白馬連山の山ひだの雪
高國の雪解の水を集めつゝ流れゆたけき信濃の大川
北の海の荒磯にさわぐ白浪を見つゝはるかに來りしをおもふ

支那學會の 胡適氏歡迎會

支那學會は去る五月十四日(土)午後三時より樂友會館に於いて歐米よりの歸途にある北京大學教授胡適氏の歡迎會を催した。集まるもの約七十名誠にいんぎんなしたる集まりであつた。氏は人も知る如く支那當代新人の一人で、その「文學革命」運動は氏の名聲を高めたものである。扨て此度の講演は會では各國の支那學を一瞥した後支那に於ける支那學を眺めて次の事をのべられた、先づ哲學に於いては啻に佛教のみならず老莊、墨學等諸子、百家の哲學、更に佛教をも併せて研究せねばならぬ、又文學に於いても從來の如く歷史的な學、古典文學のみならず、民間に發達した戲曲小說についても考究せねばならぬ、更に歷史に關しても支那史は當然東洋史に迄範圍を擴大すべきである。然るに佛蘭西の支那學者達は支那を除いた北狄の地方の研究のみをしてゐるが之は「虛學」である。扨てかゝる支那學研究の步武を進めるに當つては科學的態度で之れに向ひ必要して獨斷的に過信してはならない、吾人は眞理を建設する前に一應破壞してからやらねばならぬさて、氏かくて文學革命は破壞的ではあるが、此革命なくば徹底よりよき建設は出來ない。

讀史會旅行

文學部讀史會旅行が初瀬で解散した後讀史會では更に宇陀地方に三浦教授指導の下に研究旅行をなした。十三日の午後、榛原町の有志の方々の興へられた便宜により直に弘仁期の建築美術の寶庫室生寺に赴く、金堂五重塔の弘仁のそれに對し、彌勒、灌頂大師堂は鎌倉時代のもので、兩時代の樣式を比較研究するに大變好都合であつた。前庭の岩壁に石佛が彫まれる。土地の豪族では大野寺の岩壁に石佛が彫まれる。御門天皇の御願によつて春日佛師が作つたもので、高さ五丈五尺五寸あり。この邊宇陀川宇陀の[illegible]の[illegible]が流れを描き[illegible]室生の宿坊に入る、[illegible]を讀む。十四日朝榛原高等女學校の近く宇陀の鳥見山の山中に今の由緒ある神社、神武帝大和平定の古跡一碑の下に鳥見山の麓で[illegible]宇陀の神社に依つて宇陀の鳥見山丹生川上神社は世人にはあまり知られぬものであるか、櫻井の鳥見山字智郡の丹生川上神社その何れが[illegible]あるものであるかを爭つてゐるものである。が事は容易に斷定するは稍難しいが一社が假說時代のもの故に此處に[illegible]天皇の[illegible]に依る遺跡と思はれる。十五日雨降れど豫定の如く談山神社にいたる。同社所藏の古文書を見、社殿堂塔を見て三輪神社に向ふ。漸く雨霽る。三輪神社には社殿なし。三輪山そのものを御神體となす故といふ。寶物等を見學し同日午後解散。見學の便を與へられたる社寺並びに榛原町有志に厚く感謝したい。(五月生)

をりをり 江見會良

◇ひもすがら障子をあけて風を入れ淡からぬ春となりにけるかも
◇しらじらと大根の花咲きにけり蜂のうなりのひもすがらなるし
◇四日月の光をあみて入り來つるこの杜なかの梅ふゝみたり
◇浴室のかたへの柵の梅の花ひらききはまり落ちそめにけり
◇湯ばしりに傾向になりてまろびをり靈に溢れて湯はわき出づる

讀史會の例會 五月講演

本學文學部內讀史會にては每月最後の金曜日を以て研究發表講演會を開いて居るが五月例會は來る廿七日(金)午後六時半より樂友會館五號室に於て左記先輩の講演ある筈、會費五十錢の由
一、德川幕府と儉約令 肥後和男君
一、大和と飛鳥時代史上の鳳凰堂 源豐宗君

社會學讀書會

本學文學部社會學科同好の有志によつて組織せられてゐる同讀書會では文學部新講師五十嵐仲氏の歡迎會を兼ねて來る二十五日(水)夕五時より樂友會館に於て五月例會を開く由、席上五十嵐氏の社會學に關する講話ある筈。會費は晚餐共二圓五十錢なりと

昔語り キノ・カツ

去つた日が乳のやうにこひしい大空のさなかにつりがね草が紫のいちじくのみのやうな乳ぶさがひとつ
さがつてゐるのが目に泌みるかぎりなくやさしい響

蛙鳴く夜
八重芳路

山小田に蛙の音も靜まれて今宵は風の出てたるらしも
×
ふゝみ音の蛙ころく〳〵夏の夜を山小田遠く風吹くらしも
×
夏の夜といひど今宵は星も見えず空の何處ゆこの風吹かむ
×
かそかにも硝子窓ゆれて吹く風を今宵親しも故里思へば
×
げんげ田に熊ゝ鳴く音の蛙等に今宵は星も照らず悲しき

◇創造 五月號

同人雜誌「創造」は東大文學部に席をおく六人の學生の文壇への勇ましき呼びかけである。五月號は二つの戲曲と三つの小說を內容として居る。四月創刊號においても其の號においても各人が三十枚以上位の作品を發表して居る努力には敬意を表せずにはゐられない。○山嶋と子供達(小說)柴田賢一氏アイリッフ見たいな感じの描寫で、庭をとりに行く子供達の動き易い心を語る。立派に文壇的存在を主張し得る作品だ。○或る小さな町の話(戲曲)臨春彥氏、亡びて行く村と、村と同じやうな運命をもつ舊家、そして家に捕へられた最後の老主人を主としてる人物同士の試練を語らうとしてゐる所や事件のあつかひ方に無理があるのが損だ。○石(戲曲)石中象治氏、病つては同じ病であつて回復せる夫への一種の嫉視と焦燥とをテーマとする。よくまとまつてゐる。○周造と太陽と(小說)桐原信生氏ふうてんの以じんでかゝわる戀をうしなつた男の話にゆがんでゐるころのうごきが十分かけてゐるところを多くつかつて居る描寫が甚だ效果的である。○屋上散步(小說)秀嶋彬氏、この同人達の中でたゞ一人特異の方向をながめて居る作者、藝の若者の不幸な、或は幸福な戀をえがく。外の同人達と同程文壇への存在を要求し得る十分完成せる作だと云ふだけに今はとめておく。定價三十錢。發行所東京市本郷區追分町三一番發館內創造社

アナウメ

「自分の死後迄、自分の姿がピチピチ動いて居るのを想像するは不氣味でならない」——と云ふ理由で正宗白鳥氏が、久米正雄氏映出の「現代文士巡禮」に撮影をこばんだと云ふ。何と彼らしく愉快な考へ方だ。

×

久米氏の解說は當然のことまで還撮作らなかつたい。USBこの差は大きいものだ、氏自身も最後には怒りたらしく沈默がちだつた。成程說題には適當である。

×

映畫「地獄稼出來」の映出者である久米氏、自身も認めて居らるゝだらうが、この映畫はなッて居ませんね。勿論これを常々映畫眼から見やうとするのはまちがつた事なのかもしれない。しかし氏の監督映畫が更に次々に製作される事を思ふと氏の映畫的能力への疑ひが、恐れに不安を伴ふのを隱しますに居れね。

×

けれどこの映畫にはたつた一ヶ愉快な場面がある。それは文士達の芝居中と云ふもの苦笑。(甲)

×

同じ催しの文藝講演に來た新感覺派の橫光利一氏の言葉やボーズが氣に入つたと云つて驚慕の淚を流したでもあらうやうな一人の若い女性が居る——下紋の宵月を眺めて、魔の手を伸ばしさうな優男こいつたところをみると、彼女も此の方面に於いてのみ新感覺派であつたらしいかも知れぬ。

×

夜の街をそゞろ歩きする——もう春も過ぎて爽腰のしけむ頃だのに巷風は未だ春の香を含んでゐるらしい——恐らくへの心もまたー殊に若き人々は——就中心ゆたかな學生さんたちは。

×

どうも原稿が集まらないのでかうした落書の苦勞に煩はされる。本紙の讀者がもう少しーではない大に奮つて詩歌隨筆感想其他何でも四面に掛けられるものを——御投稿下さること有難いに——あまり長いものでないかぎり。(花)

學內辭令

兵庫縣技手兼氣象臺技師 入鍬利助
本學年間農學部講師ヲ囑託(氣象學)(五月六日付)
任助手(理學部勤務、地質學教室)(四月廿日付) 池田儁志
任助手(經濟學部勤務) 柚木重三
任助手(理學部勤務、地球物理學教室)(四月、卅日付) 谷貞夫
任助手理學部勤務、物理學教室(五月十二日付) 田中憲三
滿洲へ出張を命ず(五月十一日付) 總長 荒木寅三郎 教授 森嶋庫太

案內欄

新築住宅 吉田上大路町一八
上二室下三室、疊建具付、水道ガス電燈完備、地閑靜にして風通しよし 貸家主同町 安田
料金は三行五十錢それ以上一行を增す每に廿錢姓名在部卅錢增

指定旅館
近江石山 柳屋 電話長(大津)五四〇 (石山)二一番

日活直營 帝國館
脚色森光雄・監督村田實
椿姫(日延べ)
監督 伊藤大輔大作品
果然昭和映畫界に新記錄を劃す
夏川靜江・東坊城恭長主演
廿一日ヨリ 特別興行
中野英次郎 酒井米子
ショパンもの感じをアレンジして幻想即興曲的に時代映畫化したる
生霊

¥.80 ¥1.00 ¥1.50 ¥1.70

ミノ編リ変ナイ 二ルダ店他ニナイ マスアリガチ帽子
寺町二條 トラヤ帽子店 電話上一九二四番

京大弘高歡迎會
一、期日 五月二十七日(金)午後六時
一、會場 いろは(松竹座橫)
一、會費 二圓五十錢(當日持參)
有志一同

胃腸 タカヂアスターゼ
消化力強世界的・發見高峰博士特許專賣
東京室町 三共株式會社 各地有名藥店にあり

完成されたレディーメード
夏服
白セールスーツ 生地多種類 ¥1.00 ¥15.00
詰襟上衣 上下 ¥10.00—¥30.00
カシミヤ ボーラセル セル
レーン オーバー
株式會社 森田屋洋服店 京都烏丸丸太町